

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 10 月 27 日

所属部局・職	霊長類研究所生態保全分野・修士課程学生
氏名	有賀 菜津美

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
長野県 妙高高原	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
笹ヶ峰実習	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 26 年 10 月 15 日 ~ 平成 26 年 10 月 18 日 (4 日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京大ヒュッテ (杉山茂氏)	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>10 月 15 日より 4 日間、妙高高原の京大ヒュッテにておこなわれた笹ヶ峰実習 (無雪期) の報告をする。メンバーは、リーダーの市野さん、京大ポケゼミ生の瀧山さん、七五三木さん、武井さん、L1 の戸田さんと自分であった。引率は、杉山さんと樋口さんがおこなってくださった。</p> <p>犬山より長野経由で妙高高原駅まで行った。電車を降りると空気が冷たく、とても良い気候だった。京大ヒュッテに到着したのは、14 時半ごろであり、ヒュッテは 8 人で生活するには十分の広さだった。そして、15 時ごろから、ヒュッテ周辺を散策した。杉山さんから、最近キツネを見かけるということを知ったので、期待が高まった。無雪期の間は、ヒュッテの周辺には牧場があり、鉄条網が張られていたのでその周りを散策することになった。約 1 時間歩いたところで、アナグマを発見した。少し遠かったがハッキリ見ることができ、餌探しに集中していたようで、数分間見続けることができた。私は初めて見たので、嬉しかった。その後、キツネがいたが私たちに気づくと走って行ってしまい、一瞬しか見ることができなかった。さらに 30 分ほど歩くと、ヒュッテの近くでタヌキを見ることができた。</p> <p>2 日目の午前中は、樋口さんによる地図読みとロープの講習だった。地図読みは、基礎から教えていただいた。何度か地図を持って山を歩いたことがあったが、知らないことも多かったのもとても貴重な時間だった。そして、ロープ講習では実際にヒモを切るところから始まり、登山に必要な 6 種類 (インクノット、エイトノット、ダブルフィッシャーマンズノット、プルージック、ブーリン、モヤイ結び、ハリツナ結び) の結び方を教えていただいた。最初は使い慣れていないだけあって、簡単な結び方も覚えるのに苦戦したが、少しずつ勝手が分かり、6 種類全て覚えることができた。なかなかロープを使った登山をする機会はないが、旅行や普段の生活でも使える結び方もあり、楽しい講習だった。昼食後の 13 時からには実際に地図を持ち、沢を上って尾根沿いに降りてくる 3 時間のコースを歩いた。今回登った沢は水もあまりなく、比較的初心者でも登りやすかった。また、岩を登っていく時のちょっとした注意点やコツなどもその場で教えていただき、よい経験になった。地図読みも何度も確認しながら歩いたが、とても難しく、まだまだ経験が必要だ。</p>	
<p>スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10 月 15 日 (水) 移動 ヒュッテ周辺散策 夕食：パエリア ● 10 月 16 日 (木) 地図読み&ロープ講習 沢登り 夕食：クロダイ、サンマ、栗ごはん ● 10 月 17 日 (金) 黒沢池まで登山 夕食：カレー、チャパティ ● 10 月 18 日 (土) 帰路 	

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

ビバークの際の簡易テント張りを教えていただいた。実際に午前中に習ったロープの結び方を使ったが、部屋の中では分かっているが実際にこの場面に最適な結び方はなにかと考えたり、結ぶ方向が少し違ったりするととても難易度があがり、混乱した。そしてまだまだ練習が必要だなと思った。

3日目は、火打山登頂を目指して早朝から歩き始めた。しかし、歩き始めて10分程すると小雨が降り始め、レインウェアを着用して歩くことになった。その後も歩けないほどの雨にはならないものの、ずっと雨が降り続いた。1900mあたりまで登ったところで、ちらほら積雪が見られ始め、黒沢池まで行くと完全に足元は雪に覆われ、とても寒かった。キツネやウサギの足跡も見られ、雪ならではの楽しみ方もできた。しかし若干吹雪いていたこともあり、ここで折り返すことを決めた。雪の影響もあり、とても下るのは怖かったが、無事に14時過ぎにヒュッテに到着した後、山の方を見るとハッキリ雪線が見られ、山の上は真っ白で美しかった。久しぶりに登山をしたので、とても楽しく雪も紅葉も楽しむことができた。

最終日は、片づけをして、ロープの復習をして帰路についた。引率に杉山さんと樋口さんがいてくださったので、登山の楽しみ方や知識を身に付けることができた。また、積雪期に来るのが楽しみになった。

登山行程 (3日目)

6:40 ヒュッテ出発

7:40 黒沢橋

8:32 十二曲上

9:34 富士見平

10:10 黒沢池

10:25 黒沢池 (折り返し)

12:00 十二曲上

12:33 黒沢橋

14:15 ヒュッテ到着



写真1 杉山さんとヒュッテ周辺散策

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



写真2 左：タヌキ、右：アナグマ

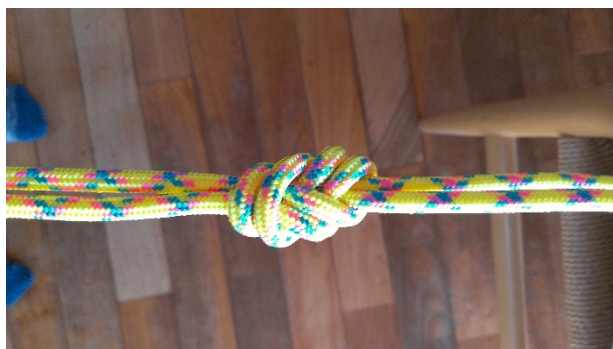


写真3 左：ロープ講習（8ノット）、右：ビバークの時の対処法



写真4 黒沢池に來ると、道は完全に雪に覆われていた

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



写真3 左：ヒュッテから雪線がはっきり見えた

6. その他 (特記事項など)

今回の実習を行うにあたり、素晴らしいプログラムに引率し、指導して下さった杉山さんと樋口さんには感謝するとともに、リーダーとして同行して下さった市野さんに深く御礼申し上げます。本活動は、PWS より助成を得て、おこないました。ありがとうございました。